

小規模多機能ホーム きいちご倶楽部 令和 8 年度第 3 回 地域運営推進会議

出席者 民生児童委員
出雲市高齢者福祉課
理事長

地域代表委員
出雲高齢者あんしん支援センター
管理者

配布資料

- ① 会議資料（本資料）
- ② 小規模多機能型居宅介護サービス提供状況票
- ③ きいちご便り no.52

本資料に沿って説明する

1. ご利用の登録状況

9 月 29 日現在、登録利用者は 14 人です（登録定員：25 人）

要介護度と男女別の人数は次のとおりです。

	男性	女性	計
要介護 1	2	5	7
要介護 2	1	3	4
要介護 3	0	1	1
要介護 4	0	1	1
要介護 5	0	1	1
計	3	11	14

平均要介護度：1.92

年齢と男女別の人数は次のとおりです。

年齢	男性	女性	計
60 歳代	0	1	1
70 歳代	1	3	4
80 歳代	2	3	5
90 歳代	0	3	3
100 歳代	0	1	1
計	3	11	14

平均年齢：84.4 歳

管理者：人数はほぼ変わらないが、おひとり入院し、亡くなられた。新たに二人が利用開始になっている。そのため平均介護度や年齢が低くなっている。

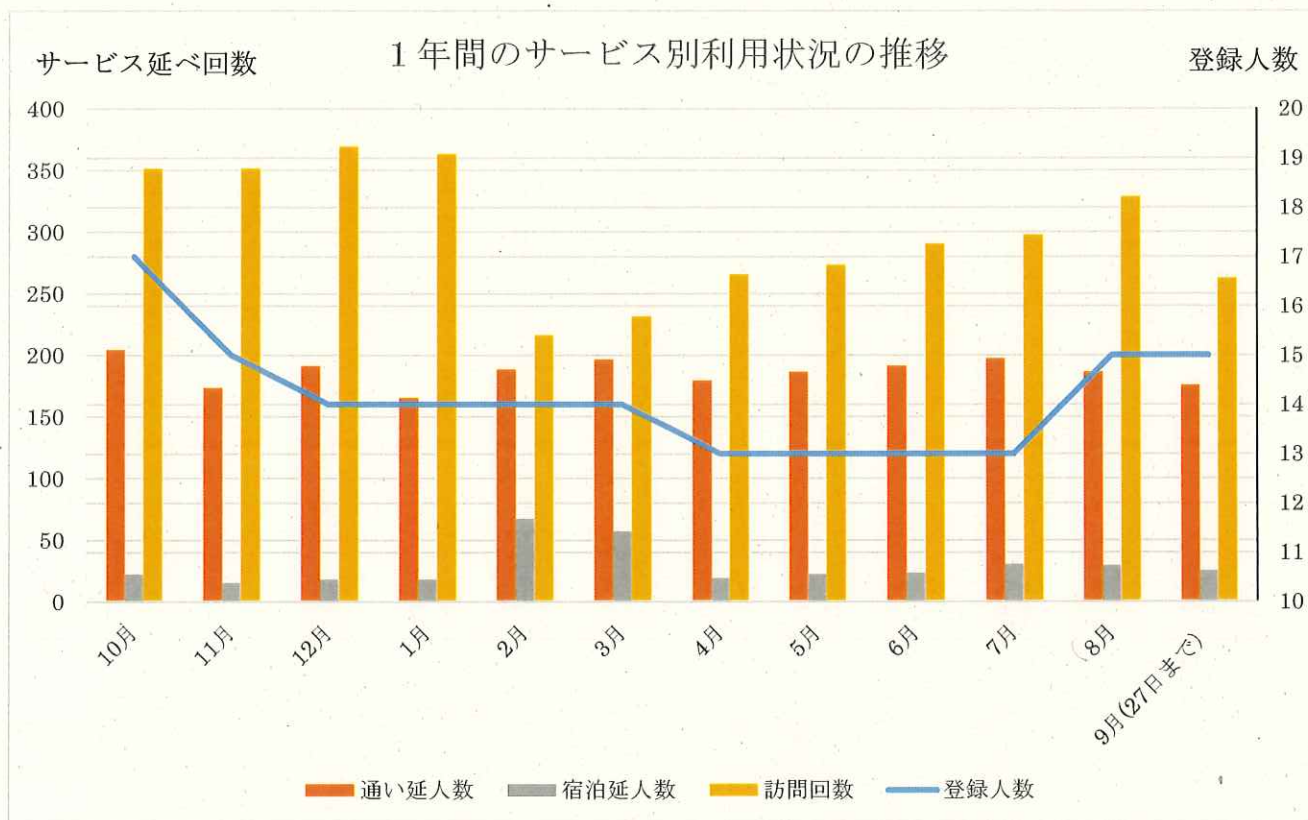
理事長：きいちごが出来てからのご利用者が亡くなられた。できるだけ自宅で過ごしたいと言われていたの

で、最後の方まで自宅で過ごすお手伝いをさせていただいた。こういった関わりができるのが小規模のいい所なのではないか。小規模多機能としての役割を再認識することが出来たと思う。

2. サービス提供状況の推移

最近3カ月の実績（延べ回数）

	登録者数	通い	訪問	泊り
7月	13	197	297	30
8月	15	186	328	29
9月(27日まで)	15	175	262	25



別紙「小規模多機能型居宅介護 サービス提供状況票」もご覧ください

委員：1日3回訪問が必要な方がおられるようだが、一回の滞在時間はどのくらいか。

管理者：朝昼夕と行っていて、どの時間かにもよるが約30分～2時間くらいです。

理事長：親子二人でのご利用だが、うちのサービスがないと生活できなくなれるので、出来るだけ支援していきたい。

委員：サービス提供状況票の備考欄に同居であることや、サービスの変更などがあった時は記入してあるとわかりやすいと思う

管理者：今後そのようにしていきます。

委員：プラバンやだるまのメッセージカード、草履のキーホルダーなど手作りか？

管理者：何か記憶に残るようなことをしてあげたい、と職員で協力して作っている。得意な職員がいる。

3. 行事・レクリエーション・活動など

・別紙「きいちご便り no.52」をご覧ください。

○夏祭りを開催し、ヨーヨー釣りや射的を楽しめました。お昼には夏祭りメニューとしてたこ焼きやフランクフルトをお出ししました。

○ご家族に三味線演奏に来ていただきました。皆さん一緒に歌ったり、演奏を聞いて楽しい時間を過ごされました。

○すいか割りをしてすいかを食べたり、翌日はすいかを使ってフルーツポンチ作りも行いました。毎日暑かったので冷たいおやつが人気でした。おはぎ作りも行いました。

○実習生とお好み焼きを作って一緒に食べられました。調理に参加できない方も、作る過程を見学したり、匂いを楽しめました。

○敬老会をし、皆さんがいつまでもお元気でいられるように、元気できいちごに通っていただけるように願いを込めて、だるまのメッセージカードと草履のキーホルダーを作ってお渡ししました。理事長のピアノの演奏に合わせて季節の歌をうたい、思い出話に花が咲きました。昼食もいつもより豪華な献立で皆さん喜んで召し上がられました。

委員：夏祭りは暖らんと合同ですか？本格的でいいですね。コンスタントに保育園との交流が出来ていいですね。インフルエンザはどうですか？

管理者：流行っていると聞くが、今の所周りでは聞かない。気をつけたい。

・出雲二中 職場体験 (9/9～11)

二名の生徒を受け入れました。人の役に立つ仕事に興味があると話され、楽しみながらも真面目に取り組まれていました。

・トリニティカレッジ 実習 (9/15～18)

二名の生徒を受け入れました。緊張しながらもご利用者とコミュニケーションを取られました。仕事のやりがいや魅力も伝えることが出来たと思います。

管理者：実習生からきいちごで働きたいと言われた。いい実習になったのではないかなと思う。

委員：実習生から働きたいと言われるなんて、雰囲気がいいんですね。いいと思います。

委員：暴言があった生徒のフォローはされましたか？

管理者：認知症があると感情が抑えられなかったり、こういうトラブルもある、という事を学びにしてほしいと伝えフォローしました。

4. 研修

<内部研修>

8月職員会 プライバシー保護

9月職員会 緊急時対応 (9月29日予定)

<外部研修>

なし

5. 事故、ヒヤリハット：8月～9月

<事故> 2件

1. 要介護 1、80 歳代の女性

発生時の状況：実習生に対して怒り出され、暴言を言われる。間に入った職員を 4、5 回叩かれる。耳が聞こえにくい為、朝の会の内容が聞こえにくかったことや、ホワイトボードが見えにくかったことが原因だったよう。

対策：できるだけ隣に座って話をしたり、聞こえにくい内容は伝えるようにする。

2. 要介護 1、80 歳代の女性

発生時の状況：昼食の玉ねぎの天ぷらに刺してあったつまようじを口に入れられた。

傷病の状況：口腔内には傷はない。

対策：声はかけていたが口に入れられたので、今後は外して提供することにした。

<ヒヤリハット・インシデント>

6 件挙げられた。その内容別の件数は次のとおり。(9/27 まで)

薬 3 件 (薬の持ち出し忘れ、薬の日付記入ミス、薬の飲み忘れ)

ふらつく 1 件 (車から降りて歩行器で歩き始めたところで膝折れた)

その他 2 件 (自宅エアコンが暖房になっていた、自宅テレビのリモコンがゴミ箱から見つかる)

6. その他

<きいちごサロンの実施状況>

8 月、9 月は、地域の方の新たな申し込みはなく、暖らんで開催する。

ミュージック・ケア、歌唱を中心に行う。子どもさんの参加もあり、高齢者の参加者はその様子に笑顔が多かった。住民の参加は 4 月に 2 名、9 月に 1 名あったのみ。暖らんのご利用者も参加される。

きいちご倶楽部近くを中心に案内を配布した。塩冶郵便局、JA 塩冶支店、塩冶学童保育にもちらしを配っている。

毎月のホームページでもお知らせしたりしているが、今後も PR の方法を考えながら、月 1 回実施してゆきたい。